

【重点審議事項の論点整理について（土木交通部・企業庁所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>社会・防災インフラの整備と維持管理について</p>	<p>○令和3年5月19日 常任委員会 ・淀川水系河川整備計画の変更について</p> <p>○令和3年7月9日 常任委員会 ・議第90号 令和3年度滋賀県一般会計補正予算（第3号）のうち土木交通部所管部分について ・議第103号 淀川水系河川整備計画の変更について意見を述べることにつき議決を求めることについて</p> <p>●令和3年7月29日 県内行政調査（都）原松原線バイパス整備事業工事現場（彦根市） ・トンネル工事の進捗状況等について</p> <p>○令和3年9月8日 常任委員会 ・（都）原松原線トンネル工事の進捗状況について</p>	<p>淀川水系河川整備計画の変更について</p>	<p>【賛成意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、気候変動の影響による豪雨災害が増え、河川整備計画に基づく中・上流部の改修も進む中で、洪水調節施設として最も有利とされる大戸川ダムについて、早期に整備すべきである。</li> <li>・淀川水系河川整備には様々な課題があり、ダムを造るリスクより造らないリスクの方が高いので、変更案について速やかに実行に移すべきである。</li> </ul> <p>【反対意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前放流による治水効果は非常に高いので、既存ダムの洪水調節機能について検証を行うべきである。</li> <li>・大戸川ダム整備による内水氾濫など、滋賀県民が負うリスクについても知事意見に盛り込むべきである。</li> </ul>	
	<p>○令和3年10月4日 常任委員会 ・議第127号 契約の締結につき議決を求めることについて（原松原線補助都市計画街路工事） ・滋賀県道路整備マスタープラン（第3次）（骨子案）について ・一般所管事項について</p>	<p>原松原線バイパストンネル工事について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施方法を選択する際には、コストは大きな判断基準になるので、想定外の事例ということだけではなく、今回の事例をしっかりと検証し、今後に生かせるよう、積算の精度を上げる努力をされたい。</li> </ul>	
	<p>○令和3年12月14日 常任委員会 ・企業庁が管理する水管橋について</p> <p>○令和3年12月15日 常任委員会 ・議第166号 契約の変更につき議決を求めることについて（原松原線補助都市計画街路工事） ・滋賀県道路整備マスタープラン（第3次）（原案）について ・議第175号 滋賀県道路公社が行う有料道路事業の変更について議決を求めることについて</p> <p>●令和3年12月22日 県内行政調査 近畿地方整備局琵琶湖河川事務所（大津市） ・瀬田川洗堰の操作について</p>	<p>道路、水道橋の整備・維持管理について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の道路整備は車中心であり、交通事故で歩行者が亡くなる比率が高い。歩行者や自転車利用者を守るため、車中心から人中心の道路空間の再編に取り組まれない。</li> <li>・湖岸で松枯れ被害が多くある。現在、ビワイチ推進条例の策定を進めている中で、景観にも配慮する必要があるため、来年度に向けて予算を確保して対応されたい。</li> <li>・県管理道路の街路樹について、植樹から年数が経ち、根上がりが起きている。目の不自由な方や電動カートに乗車する方が危険な状況にあり、他県では体系的に取り組んでいるところもあるので、市町と連携してしっかりと対策を進められたい。</li> <li>・水管橋の日常維持管理について、目視や打音検査を行っているが、和歌山市の事故原因も踏まえ、超音波やエックス線など、非破壊検査を行うことも検討されたい。</li> </ul>	
		<p>公共事業の業務量の増加について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業の業務量が増加する中で、事業の遅延や積算ミスなどが起こらないよう、事業の進捗管理を適正に行える人員体制について、しっかりと整えられたい。</li> </ul>	

【重点審議事項の論点整理について（土木交通部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>持続可能で誰もが暮らしやすい都市の将来像について</p>	<p>○令和3年5月19日 常任委員会 ・令和3年度中に策定、変更が予定されている計画等について</p> <p>○令和3年9月8日 常任委員会 ・滋賀県都市計画基本方針（素案）について</p> <p>○令和3年10月4日 常任委員会 ・滋賀交通ビジョンの総括について ・滋賀県道路整備マスタープラン（第3次）（骨子案）について</p> <p>○令和3年12月15日 常任委員会 ・滋賀県道路整備マスタープラン（第3次）（原案）について</p>	<p>拠点連携型都市構造について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点連携型都市構造の実現には、地域拠点に「働く場」をどう確保するのが重要である。「働く場」をつくるため、商工観光労働部とも緊密に連携し取組を進められたい。</li> <li>・近年は、鉄道駅よりも高速道路やバイパス周辺に人口が集積しているため、その点も踏まえた都市の在り方を考えられたい。</li> <li>・コンパクトシティ化による都市部への集中だけでは、過疎地はより住みづらくなる。特区や規制緩和などで、田舎でも家が建つよう、踏み込んで考えていただきたい。</li> <li>・効率性だけではなく、住みたい地域に住んでも、同じ行政サービスを受けられる、そういったまちづくりが基本である。</li> <li>・地域拠点に人が集まるインセンティブを設け、居住を誘導しないと、より便利な地域に人口は流出する。そういった視点を基本方針にも示されたい。</li> </ul>	
	<p>●令和3年12月22日 県内行政調査 都市計画に関する学識者、県内学生、関係者との県民参画委員会 ・持続可能で誰もが暮らしやすい都市の将来像について</p> <p>○令和4年1月18日 常任委員会 ・滋賀県都市計画基本方針（素案）に対して提出された意見・情報とそれらに対する県の考え方について</p>	<p>市町との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針における無秩序な市街地拡大防止については、市町のまちづくりの特性を損なうことがないよう、市町の意見を十分聴きながら取り組まれたい。</li> <li>・県が作成する滋賀県道路整備マスタープラン、滋賀県道路整備アクションプログラムに基づき、市町は拠点づくりや都市計画を考えていく。市町がまちづくりの策定に早期に着手できるよう、構想の早い段階で情報を共有されたい。</li> </ul>	

【重点審議事項の論点整理について（企業庁所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>地域経済の活性化に向けた工業用水の需要拡大について</p>	<p>○令和3年5月19日 常任委員会 ・滋賀県企業庁経営戦略について</p> <p>○令和3年10月1日 常任委員会 ・工業用水道事業 需要拡大の取組について</p> <p>○令和3年12月14日 常任委員会 ・工業用水道事業 需要拡大策について</p>	<p>企業への営業活動について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受水企業の獲得を目指すのであれば、待ちの姿勢ではなく、自ら企業に営業活動を行い、企業のニーズをつかみ、危機感を持って取り組む必要がある。</li> <li>・滋賀県は琵琶湖があり、豊富な水量があるので、強みを生かした、滋賀県独自の新規需要の拡大に向けた取組をしっかりと打ち出されたい。</li> <li>・今、企業は脱炭素を求められており、カーボンフリーの水は、企業ニーズになる可能性がある。社会環境の変化を把握し、自ら課題設定を行いながら、対応していかなければならない。</li> <li>・企業庁のホームページについて、大量にPDFが掲載されており、工業用水を検討されている企業が情報に到着できないので、容易にアクセスできるよう改善されたい。</li> </ul>	
	<p>需要拡大優遇制度の拡充について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引込管工事費用支援制度の拡充について、良い取組だと思うが、需要について、企業の意見をもう少し丁寧に聞き取り、支援を進められたい。</li> <li>・引込管工事費用の支援の上限が、500立方メートルとなっているが、企業が水量を多く使えば、その規模に応じて企業庁の収益は増加するので、企業の投資意欲を高めるために、上限を設けないことも検討されたい。</li> <li>・制度開始が令和4年1月1日であり、周知期間が短いので、しっかりとPRに努められたい。</li> </ul>		

【重点審議事項の論点整理について（警察本部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>犯罪の発生を抑止する社会づくりと県民の命を守るための基盤の整備について</p>	<p>○令和3年5月19日 常任委員会 ・サイバー犯罪の発生状況と防止対策について</p> <p>●令和3年7月29日 県内行政調査 科学捜査研究所（大津市） ・科学捜査の取組状況について</p> <p>○令和3年10月1日 常任委員会 ・警察官の増員に関する意見書について</p>	<p>犯罪発生の抑止について</p>	<p>・学校のサイバー防犯教室の回数を増やすため、各警察署管内で積極的に教室を活用するよう周知を行い、学生のうちからサイバー犯罪への意識を高められるよう取り組まれない。</p> <p>・銃砲刀剣類所持等取締法の一部改正によりクロスボウが規制の対象となるが、その他の殺傷能力があり武器となるものがインターネット上で簡単に購入され、犯罪に使用されないよう、情報の把握と事前規制に努められたい。</p>	
	<p>○令和3年12月14日 常任委員会 ・議第163号 滋賀県警察関係事務手数料条例の一部を改正する条例案について ・一般所管事項について</p>	<p>県民の命を守るための基盤の整備について</p>	<p>・科学捜査研究所は、建築から25年が経過しており、県民の安心安全を守る適正な科学捜査を行うため、建物や設備の老朽化について、修繕等が必要な部分は適切に対応をされたい。</p> <p>・おうみ犯罪被害者支援センターに委託している犯罪被害者サポートテレフォンについて、令和2年には、平成21年と比べ相談件数が約6倍にも増加し、そのうち性犯罪の相談が35%を占める状況である。相談受け入れ側も厳しい状況にあるので、十分配慮されたい。</p> <p>・おうみ犯罪被害者支援センターと連携協定を締結している市町が4市町にとどまっており、犯罪被害者の相談窓口が設置されていない市町もあるので、取組が広がるよう対応されたい。</p> <p>・近年、認知機能、身体的機能の低下による悲惨な高齢者ドライバーの交通事故が増えており、今後、高齢者人口が増加していく中で、必要な対策をされたい。</p>	